

1. 出題傾向

- ・社会科では第1／3回の試験ともに、各分野（地理／歴史／公民）から出題します。
- ・小学校で学習した内容を中心に出题します。また新聞やニュースで話題になった時事問題等も出題します。
- ・与えられた情報や文章を読み取って答える問題も出題します。

2. 問題構成

- ・社会の試験は、30分間で50点満点です。

□「一問一答タイプ」の問題について

- ・基本的な知識を問う問題は、一問一答形式で10問程度です。内容は地理／歴史／公民から出題します。教科書や資料集に載っている事柄が中心となります。
- ・「漢字で答えなさい」という指示のある問題があります。その場合、漢字で答えられなければ不正解とします。
- ・漢字で答える問題は、用語、人物名等社会科の中で使われる言葉を中心に指定しています。

一問一答タイプの問題例

- 603年に制定された、家柄に関係なく能力や功績で役人を取り立てる制度を何といいますか。漢字で答えなさい。
- 794年、京都の地に移された都を何といいますか。漢字で答えなさい。
- 2024年1月現在、衆議院議員の定数は何名ですか。次の中から記号で1つ選びなさい。
 (ア) 500名 (イ) 480名 (ウ) 465名 (エ) 450名
- 国際連合の一部で、世界保健機関りやくしやうの略称は何ですか。次の中から記号で1つ選びなさい。
 (ア) WHO (イ) UNESCO (ウ) IMF (エ) UNICEF

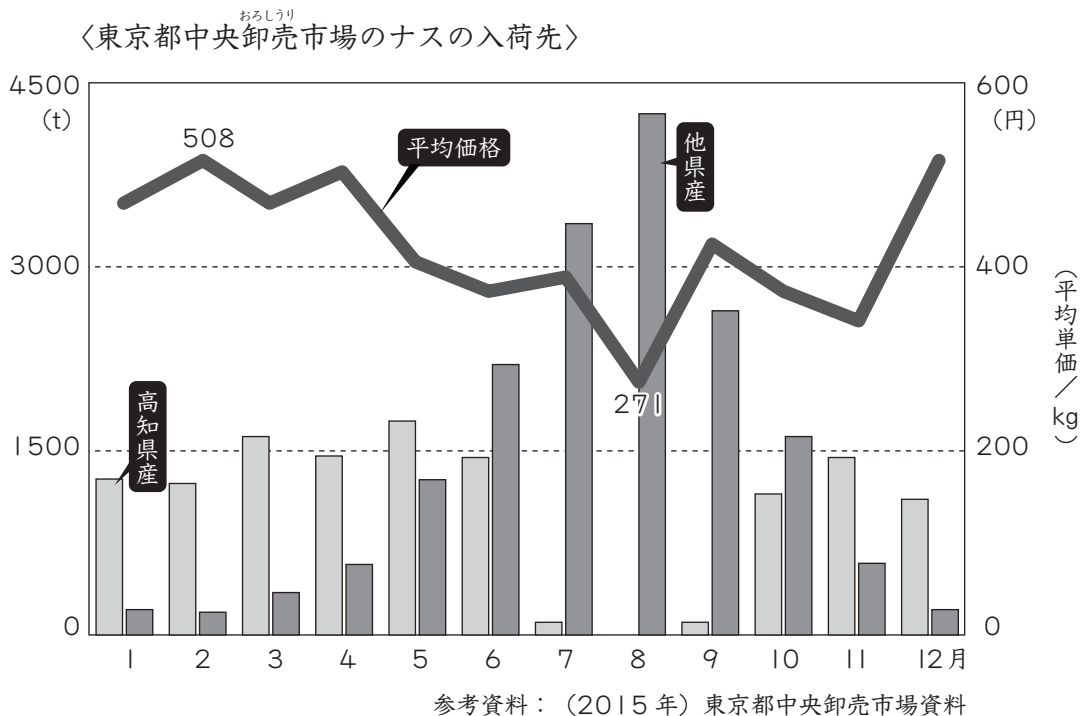
□「大設問タイプ」の問題について

- ・大設問を2題出題します。内容は、地理／歴史／公民から出題します。
- ・問題によっては、1つの問題で地理的なことと歴史的なことをあわせて問う場合もあります。

- 地図やグラフ等を読み取る問題もあります。地図では、都道府県名、都道府県庁所在地、都道府県の形等、基本的な用語や地名、地域の特徴等を問います。雨温図をはじめ、棒グラフや折れ線グラフ等を読み取れるようにしておきましょう。
- 文章を読んで答える問題もあります。その場合、しっかりと文章を読み取ることが大切です。文中に答えが潜んでいることもあります。内容が難しくても諦めずに取り組みましょう。
- 表やグラフ、図や絵、写真等を使って出題している場合もありますので、用語や言葉だけで理解するのではなく、図や絵、写真等とも結びつけて考えられるとよいでしょう。
- 大設問の答え方として、数字や記号で答えるもの、単語で答えるもの、文章で答えるもの等があります。

大設問タイプの問題例

- 1 高知県では、なぜ冬に夏野菜をつくっているのでしょうか。次の資料を参考にして、考えられることを説明しなさい。



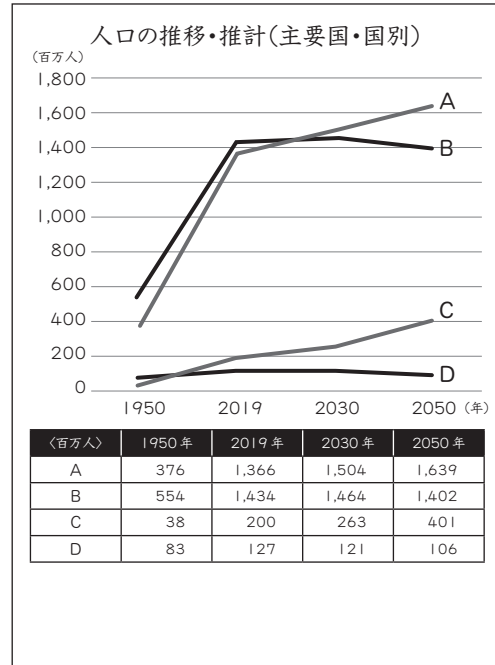
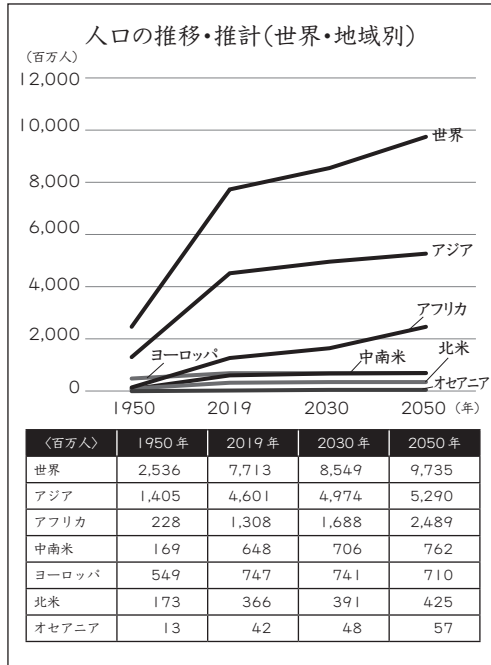
2 各問いに答えなさい。

(1) SDGs は日本語で何といますか。解答欄^{らん}にあてはまるように漢字で答えなさい。

(2) あなたが小学生のときに行った SDGs の取り組みを答えなさい。

3 資料を見て、各問いに答えなさい。

〈世界人口の推移・推計〉



参考資料：国連「World Population Prospects 2019」

(1) A～Dにあてはまる国の組み合わせとして、正しいものを次の中から記号で1つ選びなさい。

- (ア) A 中国 B インド C ナイジェリア D 日本
 (イ) A インド B 中国 C ナイジェリア D 日本
 (ウ) A 中国 B インド C 日本 D ナイジェリア
 (エ) A インド B 中国 C 日本 D ナイジェリア
 (オ) A ナイジェリア B 中国 C インド D 日本

(2) 資料から読み取れることとして、正しいものに○、^{まちが}間違っているものに×をつけて答えなさい。

- (ア) 全ての地域で人口が増え続けていくことが予測されている。
 (イ) 1950年の世界人口は25億36万人である。
 (ウ) 2019年から2030年にかけて人口が最も増加すると予測される地域はアジアである。

3. 解答分析

- ・「一問一答タイプ」の問題では、日頃の学習がしっかりできている様子うかがえました。答えがわかっているにもかかわらず、歴史上の人物や出来事等、漢字を間違えていることもありました。正確に覚えるようにしましょう。
- ・「大設問タイプ」の問題では、問題をしっかり読めると正答率が上がっていきます。文章中にもヒントが載っている場合がありますので、丁寧に問題文や資料、グラフ等を読み取りましょう。

4. 学習アドバイス

□「一問一答タイプ」の問題について

- ・教科書や資料集等学校で日頃学んでいる内容が中心となります。学校で学んだことをしっかり復習しておくといでしょう。解答は正しく漢字で書けるようにしておきましょう。

□「大設問タイプ」の問題について

- ・まずはしっかり問題文を読みましょう。そして文章や資料、グラフ等を読み取り関連づけて考えたりできるようにしておきましょう。
- ・話題となったニュース、地球規模の出来事や問題等にも目を向けておきましょう。日頃から時事問題に関心を向ける習慣を身に付けておくことが大切です。
- ・初めて見る問題でも、一つひとつ丁寧に読むことにより答えが見つかることもあります。丁寧に問題文を読みましょう。
- ・記述問題では、言いたいこと、伝えたいことが採点者に理解できれば、正解に至らなくても部分点をつけています。また、文中に漢字の間違いがあった場合でも、全体の文脈から判断して文意が伝われば正解とする場合もあります。まず、出題者がどのような答えを求めているのかをしっかりと掴み、文章を書くようにしましょう。
- ・解答するときの注意点としては、問題の答え方をしっかり確かめるようにしましょう。漢字で答えるのか、ひらがなでもよいのかを問題文から確認するようにしましょう。